

## 「まいにち笑顔 みんなが笑顔」

この数字は何でしょう。

2年1組158・1年1組153・1年4組145

これは、先月4日から14日までの読書週間で、図書室から借りた本の数です。この3クラスは、読書週間で、1人あたり5冊以上の本を借りたことになります。ちなみに全校で1人あたりが借りた本は2～3冊になりますので、その倍は借りていたことになります。もちろん、読書週間で、家から本を持ってきている人もいましたが、よく本に触れ合っていたことは間違いのないと思います。

そこで、今年に入ってから10月までに皆さんがどの位の本を借りているのか調べてみました。次のクラスは、1人あたり30冊以上読んでいるクラスです。

3年3組1238(39)・3年2組1054(34)・2年1組1020(34)

1年1組963(33)・3年1組1039(32)・2年2組924(32)

2年3組893(31)

このペースでいくと、1年間で50冊以上の本が読めそうです。

さて、第七小学校では毎学期、読書週間がありますが、全国的には、11月3日の文化の日の前後2週間、10月27日から11月9日までが読書週間となっています。その他にも4月23日は「子ども読書の日」で、この日から5月12日までは「こどもの読書週間」となっています。

毎年、読書週間にちなんで、標語の募集があり、今年読書週間の標語は「この一冊にありがとう」です。また、「こどもの読書週間」の標語は、「ひとみキラキラ 本にどきどき」でした。この標語を考えた人は、普段、学校や図書館で読み聞かせボランティアをしている方です。読み聞かせをしていると、お話を聞いている子供たちの瞳が本当にキラキラ輝いて見えるそうです。

本は、一生かけても読み切れないほど世の中にはたくさんあります。その中で出会える本というのは限られています。限られた本としか出会えないのであれば、どきどき、わくわくする本と出会いたいものです。友達同士で面白かった本を紹介し合うのもいいでしょう。図書室の廊下側には、「おすすめの本」も紹介されています。あまり興味がなくても、一度手に取ってみてください。新しい世界が広がるかもしれません。皆さんのキラキラした瞳を楽しみにしています。